

番 号 : 131056

国 名 : セネガル

担当部署 : 人間開発部社会保障課

件 名 : セネガル・日本職業訓練センター機能強化プロジェクト (重機保守3  
(機材技術指導))

1. 担当業務、格付等

(1) 担当業務 : 重機保守3 (機材技術指導)

(2) 格 付 : 2~3号

(3) 業務の種類 : 専門家業務

2. 契約予定期間等

(1) 全体期間 : 2013年12月下旬から2014年3月下旬まで

(2) 業務M/M : 国内 0. 25M/M、現地 2. 17M/M、合計 2. 42M/M

(3) 業務日数 : 準備期間 現地業務期間 整理期間  
3日 65日 2日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

(1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部

(2) 見積書提出部数 : 1部

(3) 提出期限 : 11月13日(12時まで)

(4) 提出方法 : 専用アドレス(e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出、  
または調達部受付(JICA本部1F)への書類の提出

※2013年10月2日以降の公示案件(業務実施契約(単独型)のみ)より、電子媒体  
による簡易プロポーザルの提出を試行導入します。提出方法等詳細については、  
JICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ)をご覧ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

(1) 業務の実施方針

①業務方針の的確性 6点

②業務方法の整合性、現実性等 12点

③当該業務実施上のバックアップ体制 2点

(2) 業務従事者の経験能力等

①類似業務の経験 40点

②対象国又は同近隣地域若しくは同類似地域での業務経験 14点

③語学力 10点

④その他学位、資格等 16点

(計100点)

類似業務 :	重機整備に関する各種業務
対象国/類似地域 :	セネガル/全途上国
語学の種類 :	英語またはフランス語

## 5. 条件等

(1) 参加資格のない社等 : 特になし

(2) 必要予防接種 :

黄熱 : 入国に際してイエローカード (黄熱病予防接種証明書) が必要です。

## 6. 業務の背景

セネガルは、2006年に策定した第二次貧困削減戦略文書 (PRSP2)において、富の創出、基礎社会サービス、グッドガバナンスと地方開発、及び社会保護・災害予防・管理を柱とし、雇用創出の観点から技術教育・職業訓練分野の強化を重視している。

セネガル日本職業訓練センター (CFPT)は、技術者資格取得者 (BTI)養成の為、1984年に我が国の無償資金協力を得て建設され、また、我が国の技術協力により職業訓練指導員の能力開発が行われた。その後も、上級技術者取得コース (BTS)への支援等、日本の協力を得て、産業界のニーズに基づく職業訓練を実施する総合的能力を備えつつある。

このたびCFPTは、労働需要およびセネガル国内の他の職業訓練機関の動向をふまえ、自動車整備科及び電子科を改編し、新たに重機保守科及び建築設備保守科を開設することとした。これら2学科の開設へ向けて、セネガル政府は我が国に対して無償資金協力を要請し該当施設の整備がなされ、2012年10月に新学科を開講した。本技術協力は、同無償資金協力との一体的実施を視野に入れたプログラムとして、カリキュラム開発やシラバスの整備、指導員育成などを通じて、新学科の適切な運営を支援することを目指している。

本専門家は、CFPTをカウンターパート (C/P) 機関として、新規開講した重機保守科において、①指導員の能力強化と、②カリキュラム、シラバス、及び指導員用教材の開発、③研修計画の策定に関する一連の業務を支援することを目的に派遣するものである。

本分野のこれまでの活動としては、2012年1-3月 (3ヶ月間) に派遣された専門家により、CFPTにて進められているカリキュラム、シラバス、及び指導員用教材の開発にかかる情報収集・整理がなされた。また、2012年10-2013年1月 (3ヶ月間)、2013年6-7月 (1.5カ月間) 及び同7-8月 (1.5カ月間) に派遣された専門家により、工具類の維持管理体制整備と重機類の分解・組立に関する技術指導がなされた。加えて、コマツ社が現地に持つコマツ・ダカール・トレーニングセンターにおいて、指導員に対する延べ約3ヶ月間のメーカー研修が実施されている。また、本専門家の派遣に先立ち、2013年9-12月 (9週間) に指導員向けの本邦研修が実施されている。本専門家はこれら一連の活動を引継ぎ、これら活動への継続的な進捗支援と、指導員の能力強化に向けた技術移転が求められている。

さらに、本プロジェクトにおいては、2011年10月より長期専門家 (チーフアドバイザー/職業訓練マネジメント) (以下「総括専門家」とする) が派遣されており、本専門家の活動に際しては、総括専門家との適切な情報共有と進捗相談が求められている。

## 7. 業務の内容

本コンサルタントは、CFPT重機保守科 (BTSコース) の適切な運営へ向けて、C/P機関に対し以下の内容について協力を行う。

1) 重機保守科の指導員 (2-4名) への技術指導の実施

- 2) 重機保守科のカリキュラム、シラバス、及び指導員用教材の開発に向けた技術的助言
- 3) 重機保守科の研修計画、及び指導員育成計画の策定への支援  
具体的な担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間 (2014年1月上旬～2014年1月中旬)

- ① プロジェクト関係資料 (各種報告書等) から、プロジェクト全体像、今次業務の位置づけ、C/P機関の現状と課題などを把握する。
- ② JICA人間開発部と、活動の進め方を相談・協議する。
- ③ 業務計画書 (和文及び英文または仏文) を作成し、JICA人間開発部へ提出する。

(2) 現地派遣期間 (2014年1月中旬～2014年3月中旬)

- ① 現地業務開始時に、C/P機関、JICAセネガル事務所へ業務実施計画書を提出し、内容を確認する。また、総括専門家に同計画書の説明を行い、適宜、進捗報告を行う。
- ② これまで実施してきた技術移転活動の内容を踏まえ、CFPT指導員に不足している/必要となる技術内容・レベルを確認し、本派遣期間中の技術移転研修計画を策定する。なお、これまでのCFPTとの協議を踏まえて本専門家に期待する技術指導内容は以下のとおり。
  - ア) これまでの技術指導 (2012年10月以降に派遣された専門家による指導、及び2013年9-12月の本邦研修) にて習得した以下の技術に関する運転・操作・検査方法などに関して、CFPTの当該実機を使用した技術指導
    - ・燃料噴射ポンプ (直列型・分配型) テスターの稼働
    - ・スターター・モーター、及びオルタネーターテスターの稼働
  - イ) その他機材の技術指導
- ③ CFPTにて協議・検討中のカリキュラム開発について、その進捗と内容を確認する。策定済みカリキュラムがある場合、この内容に基づいて、指導員の育成計画作成に対する技術的助言を行う。
- ④ 策定されたカリキュラムは、BTSコースの認定に向けて、職業訓練・研修・手工業省における評価委員会において審査・承認される規定であることから、その進捗状況も併せて確認する。
- ⑤ 策定されたカリキュラムに基づいて、指導員用教材の開発が進められるため、その進捗に基づいて技術的助言・支援を行う。
- ⑥ 重機保守科の研修計画策定に際し、民間連携でのインターン実施の可能性を検討の上、その実行と研修計画への組み込みへ向けた支援を行う。重機保守科のカリキュラム検討にあたるワークショップには、セネガルで活動する重機関連民間企業 (9-10社) からの参加を受けていることから、これら企業との連携を検討する事が考えられる。
- ⑦ 現地業務結果報告書 (英文または仏文) を作成し、C/P機関、JICAセネガル事務所、および総括専門家へ報告する。

(3) 帰国後整理期間 (2014年3月中旬)

現地派遣期間中に現地業務結果報告書を用いて実施した最終報告会での議論を踏ま

え、専門家業務完了報告書（和文）を作成し、成果の発現状況や、GFPTにおける重機学科の運営と技術能力向上に関する今後のプロジェクト活動への提言をとりまとめ、JICA人間開発部へ報告する。必要に応じて帰国報告会を実施・報告する。

## 8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（3）専門家業務完了報告書とする。

### （1）業務計画書

和文3部（JICA人間開発部、JICAセネガル事務所、プロジェクト）

英文または仏文4部（C/P機関、JICA人間開発部、JICAセネガル事務所、プロジェクト）

### （2）現地業務結果報告書

英文または仏文4部（C/P機関、JICA人間開発部、JICAセネガル事務所、プロジェクト）

### （3）専門家業務完了報告書

和文1部（人間開発部）

なお、上記成果品の体裁は簡易製本とし、電子データを併せてJICA人間開発部へ提出する。また、現地派遣期間中に業務従事月報を作成し、JICAセネガル事務所へ提出する。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成の手引き」

（<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>）を参照願います。留意点は以下のとおり。

### （1）航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積を計上して下さい）。

## 10. 特記事項

### （1）業務日程／執務環境

#### ① 現地業務日程

現地派遣期間は2014年1月10日～2014年3月15日を予定していますが、多少の日程調整は現地C/P機関と相談の上で可能です。

#### ② 現地での業務体制

ア) 本専門家は、プロジェクトの他の専門家との適切な情報共有、進捗相談が望まれる。派遣中および派遣予定専門家は以下のとおりです。

・ チーフアドバイザー/職業訓練マネジメント :

2011年10月～2014年10月（3年間） : 1名

・ 建設設備保守科 冷凍・空調 : 2013年2-3月頃（1ヶ月間） : 1名

イ) 現地業務に際しては、必要に応じてJICAにて現地通訳・翻訳（英⇄仏）を手配する予定です。

(2) 参考資料：特になし

(3) その他

業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

以上